

# 平成 25 年中における自殺の状況

平成 26 年 3 月 13 日

内閣府自殺対策推進室  
警察庁生活安全局生活安全企画課

## 平成25年中における自殺の状況 目次

第1章 平成25年中における自殺の概要	1
第2章 平成25年中における自殺の内訳	3
自殺者の年次比較(表1～表4)	4
年齢階級別、原因・動機別自殺者数(表5)	6
職業別、原因・動機別自殺者数(表6)	7
年齢階級別、職業別自殺者数(表7)	8
都道府県別自殺者数(表8～表12)	9
年次別自殺者数(補表1-1)	14
年齢階級別自殺者数の推移(補表2-1)	15
年齢階級別自殺死亡率(補表2-2)	16
職業別自殺者数(補表3-1)	17

# 第1章 平成25年中における自殺の概要

1 総数(表1関係)

平成25年中における自殺者の総数は27,283人で、前年に比べ575人(2.1%)減少した。  
性別では、男性が18,787人で全体の68.9%を占めた。

2 年齢階級別自殺者数(表2関係)

「60歳代」が4,716人で全体の17.3%を占め、次いで「40歳代」(4,589人、16.8%)、「50歳代」(4,484人、16.4%)、「70歳代」(3,785人、13.9%)の順となっている。

3 職業別自殺者数(表3関係)

「無職者」が16,465人で全体の60.3%を占めて最も多く、次いで「被雇用者・勤め人」(7,272人、26.7%)、「自営業・家族従業者」(2,129人、7.8%)、「学生・生徒等」(918人、3.4%)の順となっており、この順位は前年と同じである。

4 原因・動機別自殺者数(表4関係)

原因・動機が明らかなもののうち、その原因・動機が「健康問題」にあるものが13,680人で最も多く、次いで「経済・生活問題」(4,636人)、「家庭問題」(3,930人)、「勤務問題」(2,323人)の順となっており、この順位は前年と同じである。

注)平成19年に自殺統計原票を改正し、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上することとしたため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者数(20,256人)とは一致しない。